

## 企業概要

会社名	Taxshe Services
設立	2015
事業分野	タクシー（女性・子供専用）
本社	バンガロール（インド）
社員数	90



## 事例のポイント

女性と子供という、途上国の経済から取り残されがちな層に対して、利用者もサービス提供者も「女性と子供に限定」することで、「安全・安心」な環境を作り出し、埋もれていた需要を掘り起こしたタクシー会社の事例である。ポイントとして、①女性と子供に限定したサービスの提供、②女性の働く機会の創出、③設備と訓練による安全の底上げ、④社内のトレーニング技術の一般向け提供、が挙げられる。

## 企業プロフィール

2015年に設立された同社は、女性と子供だけを対象として、デリーとバンガロールという二つの都市でタクシーサービスを提供している。

全てのドライバーは女性であり、全ての利用者も女性または子供に限られている。女性限定のタクシーサービスは、都市部に生きるインド人女性に安全な移動を提供するためのモデルであると共に、雇用機会の少ない女性が安心して働ける職場を実現している。

タクシードライバー育成のために社内で培った運転技術のトレーニングカリキュラムを活用して、一般向けのドライビングスクールも開校している。

## 背景にある社会課題

インドの女性の労働参加率は世界の主要国で最も低く、社会から取り残された多くの離村の生活条件も厳しい。

女性と子どもに対する暴力は、インド社会における大きな問題である。国家犯罪記録局(NCRB)によれば、インドでは2019年に毎日88件の暴行事件が発生しており、これは他国に比べてきわめて高い数値である。状況は近年、悪化しており、

女性に対する暴行事件の件数は、過去10年間でおよそ44%増加している。

またインドの人口の約37%は18歳未満の子どもであり、その多くは必須栄養、教育、保健サービスへのアクセスを欠いている。インドの子どもの約53%が、様々な種類の虐待を経験していると報告されている。

## ビジネスモデルと製品の特徴

同社は、女性と子供に「安全な移動」を提供することを目指しており、女性ドライバーによる、女性と子供のためのタクシーサービスを提供している。

タクシーは全てオンデマンドの予約によって手配され、通勤用や通学用などの定期契約も用意されている。

女性ドライバーは労働機会の少ない離村等から雇われており、雇用後は、運転技術や護身術などについての研修を受ける。

女性ドライバーたちは「Roo」と呼ばれる。これはカンガルーを指す俗語であり、強さと愛情深さを併せ持つ同社の女性ドライバーたちを象徴する呼び名である。

## SDG ビジネスへのアプローチ

### ① 女性と子供に限定したサービスの提供

インド社会において「取り残される」ことの多い女性と子供に対して、排他的に(すなわち男性を対象外とする形で)サービスを提供するというのは非常に珍しい形である。

同社はこれらの層に特化したタクシー事業によって、女性や子供の、通勤、買い物、交友、通学、その他の用事などの潜在的な移動ニーズを掘り起こし、新たな市場を作り出すことに成功した。

### ② 女性の働く機会の創出

利用者を女性と子供に限定したことで、ドライバー側も、女性が安全に働ける環境を作り出した。

これまでタクシー運転手にはなれなかった(あるいはなりたがらなかった)女性も働くことができるようになり、このことは同社に、労働力市場で大きな優位性をもたらしている。

女性ドライバーにはシングルマザーの立場にある人が多く、柔軟に働くことができるよう、フルタイムからパートタイムまで、幅広い労働形態を整備している。

タクシードライバーとして働き、2年ほどフルタイムで働けば自分の車を持つことができる。平均的には一日あたり5-6時間働き、多い運転手は2万円ほどの月収(日本円でおおよそ3万円)を得ており、これはインドの平均的な月収を上回る水準である。

### ③ 訓練と設備による安全の底上げ

ドライバーへの採用の際には身辺調査があり、雇用されてからは6-8ヶ月の間、多様なトレーニングを受ける。これには専門的な運転技術の訓練、護身術の訓練、ソフトスキルの訓練などが含まれる。

また全ての車両はGPSによるリアルタイムの追跡が行われ、車両内にはペッパーズプレーを装備し、安全を確保することに努めている。

### ④ 社内のトレーニング技術の一般向け提供

ドライバーに対する運転技術のトレーニングは社内で行われ、そのノウハウは体系化されている。同社はこれを活用し、一般女性向けのドライビングスクールを開校している。

ドライビングスクールは新たなドライバー候補を見つける機会でもあり、既に働いているドライバーには、トレーナーになるキャリアが開かれることで、士気が高まる効果をもたらしている。

## SDGsへのインパクト

- 女性と子供が包摂された都市になるよう、安全な移動手段を提供しており、これまでに200万回以上の、女性と子供のための乗車を実現している。
- 毎日500人以上の子供が学校に送り届けられている。
- 女性の雇用機会がなかった離村から432人の女性が採用され、うち90人が訓練を受け、運転免許を取得してドライバーとなった。今後5年間では5,000人の女性ドライバーを育成・雇用する目標を持っている。

## 国際機関・ドナーとの連携

- 現時点ではドナー等との協業は行われていない。

### SDG ビジネス 起業家の言葉

この会社を設立する前、私は投資銀行家として働いていた。

会社設立のきっかけになったのは、デリーのタクシーで発生した婦女暴行事件だ。それは世間では、あまり知られてはいない小さなものだった。事件を伝える新聞記事の一文(被害者の言葉)に、こう書かれていた。

「もし運転手が女性だったなら、私はこんな目には遭わなかつたらう」

その言葉は、私の中の女性を揺り動かした。その時、決めたのだ。誰かが行動しなくてはならない。そしてそれは私なのだ。

それが、Taxsheのアイデアが生まれた瞬間だった。

ヴァンダラ・スリ  
Taxshe 創業者